

04

聞こえた英語を真似してみよう

●●●英語が苦手な人は、まずはこの段階を目指そう

次のステップは、できる範囲で「聞こえた英語を真似する」ことです。

なんで、こんな当たり前のことを説明しているかというと、聞いて真似することは、英語学習の大切なステップのはずですが、その意識が抜け落ちている人が多いからです。

特に、発音はアバウトでも構わない、と開き直っている人に、このステップが欠けていることが多いようです。

前にも説明したように、英語を口にすることに抵抗のある人が、抵抗を取り除いていくステップとしては、発音はアバウトで構いません。しかし、英語を口にすることに抵抗がなくなった後、さらに上達を目指すのであれば、いつまでもアバウトな発音でいいわけではありません。

アバウトな発音からワンランクアップする手段としては、本当は発音記号を学習するのが効率的なのですが、負荷が高く感じられる人が多いはず（実際に学習してみれば、それほど負荷の

高い作業ではないのですが、ゴニョゴニョした発音記号に対して、精神的に敷居が高く感じられる人は多いですよ。そこで負荷の低い前段階のステップとして、「聞こえた英語を真似する」のです。

もちろん、完璧に真似しようとしても無理がありますから、自分にできる範囲でなるべく真似して発音する、という気持ちで大丈夫です。

真似する回数は多ければ多いほどいいですから、番組を録音・録画したり、CDを購入したり、復習しやすい環境を整えることは大切です。

自宅で落ち着いて学習できるときは丁寧に真似をしてみて、散歩中などは携帯プレーヤーで聞き流しながら軽い気持ちで真似をするといったように、メリハリをつけることも大事です。

すでにNHK講座を利用している人にも、この方法で学習している人が多いようです。そして、それなりに英語を使えるようになっていきます。NHK講座で学習して海外旅行をしてみたら不自由なかった、というようなエピソードは、みなさんも見聞きしたことがあるのではないのでしょうか。

ですから、初心者やNHK講座を初めて利用する人は、まずは、この段階に到達することを当面の目標としてください。

05 学習の習慣を確立させるコツ

●●● なかなか毎日聞けないという人へ

ここまで読んでみて、「学習を習慣づけるのに、特別に難しいことはないんだな」と安心できたのではないのでしょうか。

辞書で調べたり、文法書を開いたり、発音テキストを読んだりといった、英語が苦手な人に敬遠されがちな手順は、まだ必要ありません。

結局何が必要かという、「やってみよう」という気持ちだけということになりますね。

「やってみよう」という気持ちを奮い立たせるためにも、前にも述べたことですが、なるべく目標を明確にしておきましょう。それと、「やってみよう」と思い立ったときに即、実行に移せるように、テキストや録音・録画など、環境を整えておきましょう。

「やる気はあるんだけど、忙しくてなかなか時間がないんだよね～」という人もいるかと思いますが、たとえばスキマ時間を活用できないものか、一日の行動パターンをチェックしてみてください。次のような時間が、実はけっこうあるのではないのでしょうか。

- インターネットやテレビを漠然と眺めて過ごしてしまう
- 特別に好きでもない雑誌や新聞やマンガをなんとなく眺めて時間をつぶしてしまう
- 食後に不必要に長くくつろいでしまう
- 不必要に長風呂してしまう

もちろん、上記すべて禁止！ということではありませんよ。寒い日や疲れた日にお風呂でゆっくりくつろぐのは至福の時間ですから、あくまで「不必要に長い場合」を英語学習に割り当てられないかチェックしてみてください、ということです。上記のような時間が各 15 分ずつあれば、合計で一時間も学習時間を確保できます。

忙しい中でも、スキマ時間を活用して学習している人は、いざ時間の余裕ができたときにグーンと飛躍できるものです。逆風の中でのジョギングをイメージするといいかもしれません。逆風でなかなか前に進まないときでも、そこで歩みを止めずにいれば、知らず知らず鍛えられて、追い風になったときにグーンとスピードアップできるイメージです。

「やってみよう！」という気持ちをもったうえで、忙しいときは「時間の使い方を工夫するチャンス！」と考えるのが、学習の習慣を確立するコツです。